

THE REFERENCE

TYPEF

THE REFERENCE

THE STANDARD

BY WHICH OTHERS

ARE JUDGED, AND

TO WHICH

THEY ASPIRE.

「リファレンスシリーズの絶対的品質を守るため、熟練技術者が組み上げた製品は全て必ず、基本となるモデルと比較を行っている。この基本モデルをリファレンスと呼ぶことから、本シリーズはリファレンスシリーズと呼ばれるようになりました。」

— Laurie Fincham, Engineering Director 1968-1991

The Reference: the standard by which others are judged, and to which they aspire.

録音をされた音の完璧な再生がリファレンスシリーズの目的です。最初のリファレンスシリーズが発表されてからすでに40年余り経ちましたが、その間に継続的な革新的技術開発がなされてきました。この度のThe Referenceはその綿々と続いてきた努力の集大成といえるものです。

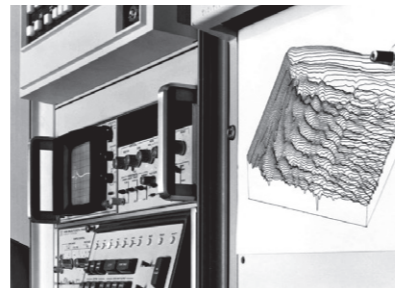
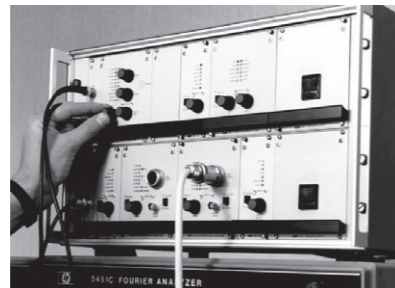
BowieがLife on Marsをリリースした頃には、KEFはより良い音を実現するために、世界に先駆けてコンピューター解析によるスピーカーの開発を行って

居ました。KEFの技術者は左右ペアのスピーカーの特性を0.5db以内に揃えることを実現しました。これにより完璧なペアマッチの理想的な生産を可能として、完璧なステレオ再生を行うリファレンスシリーズを世に送り出しました。世界のオーディオファイルもそのサウンドの素晴らしさと正確なステレオ感に賛辞を送りました。このようにして、リファレンスシリーズは生まれました。

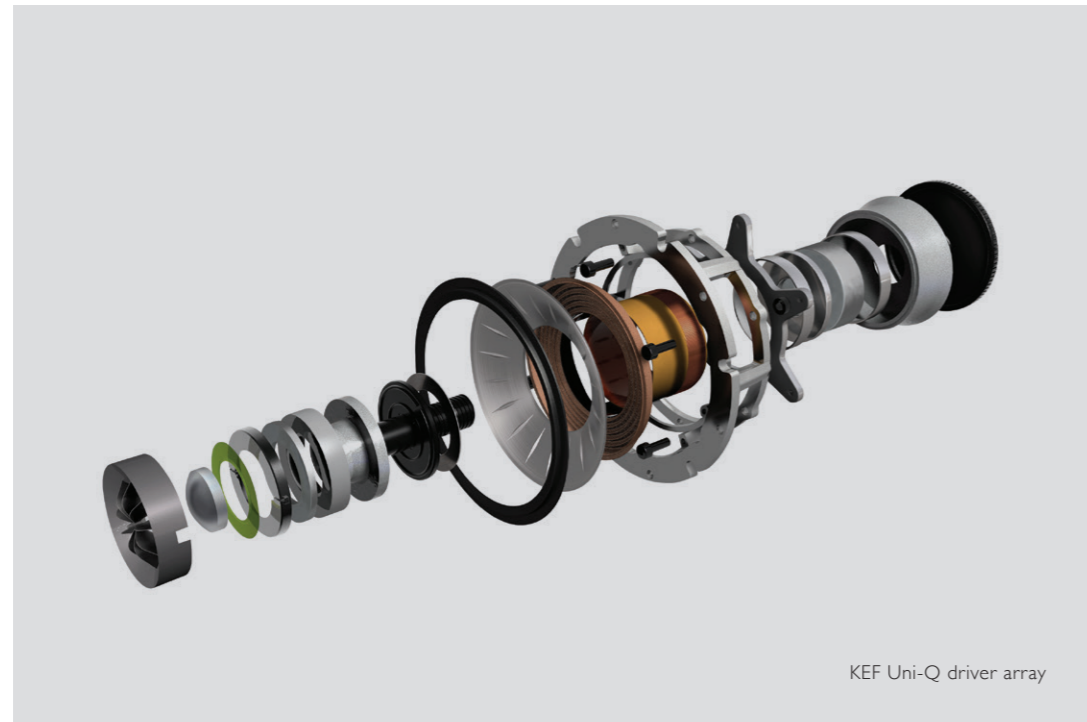
それから、世の中は変わりましたが、KEFの音楽性のある良い音を創るための新技術の開発はその間も変わらずに休みなく続けられました。性能は大きく

改善し、現代のあらゆるソースに対応できるようにしてきました。KEFのスピリットは常に同じです。レコードされた音楽をありのままに再生することで、特性だけでなく音楽の中に潜在する感情を表すことも含まれています。

最高のスピーカーを創るにはそのクラフトマンシップも最高なものでなくてはなりません。デザインにおいても時代の変遷はありますが、常に音質、美しさを求めています。The Referenceは世界のオーディオファイルが満足する出来るものであるとの自負を持っています。



KEFの創設者レイモンド・クックの精神は不変です。流行に流されずに、常に物事の本質を見抜き科学的な判断を行うことが重要である。



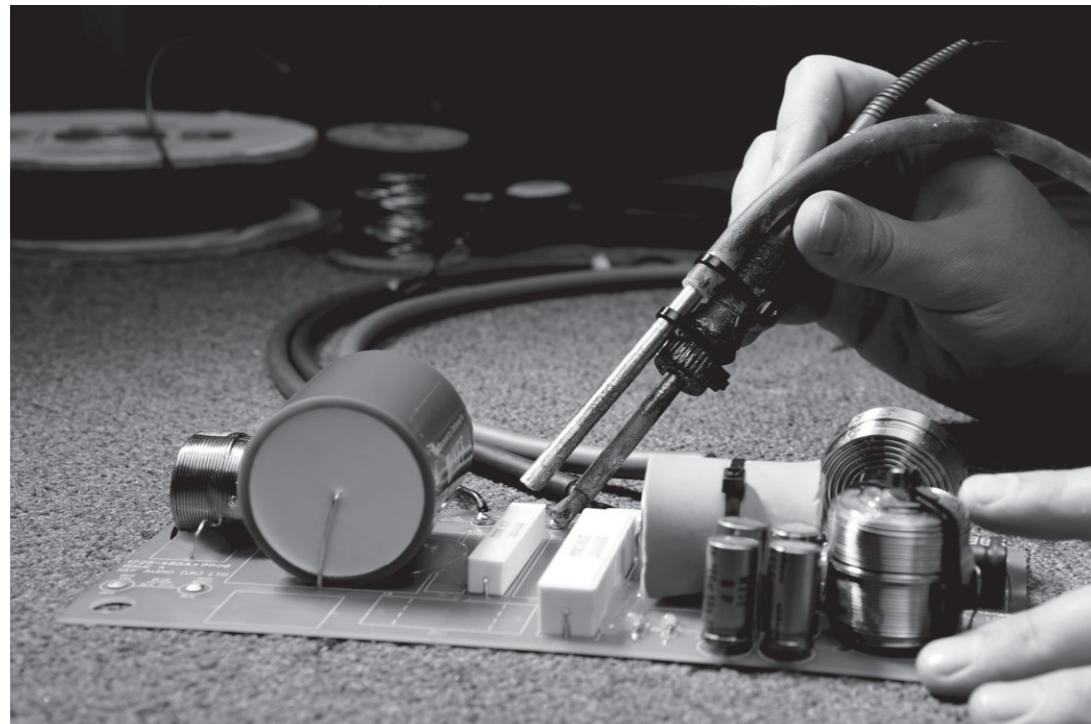
KEFの音響デザインの特許は数えきれないほどです。最新のコンピューターを駆使したファイナйтエレメント分析や流体力学分析も最先端です。ソフトウェア技術者も多く養成しています。素材や、製法なども常に革新的で人工衛星に使われているネオジウムマグネットや、非常に硬いUltra-Strong Aluminum/resin compositeをThe Referenceシリーズのフロントパネルに使用しております。特に、世界特許の点音源2ウェイユニQドライバーは完璧な位相と、理想

的なダイナミックレンジと広高域拡散特性をもち、音響業界でも最高の技術の一つと言われております。さらにタンジェリンウェーブガイドや、スティフドアルミドームや高効率モーター、ヴェンテッドアルミドームツイーター、Zフレックスサラウンドなど並びきれないほどの創意工夫が、素晴らしい再生音を奏でる理由の一つとなっています。



Head of Acoustics, Dr Jack Oclee-Brown and
Senior Acoustics Engineer, George Perkins





3つの美しい3ウェイフロア型とかわいらしい3ウェイブックシェルフ型スピーカーのステレオスピーカーを筆頭に、3ウェイセンタースピーカーそして1000Wものサブウーハーを取り揃えています。最高音質のステレオから始まり後日、同じ高いクオリティーのレファレンスセンターやサブウーハーそしてレファレンスを選ぶことができます。全てのレファレンスモデルは英国のメイドストーンにあるKEFの工場に熟練したエンジニアが1ペアずつ組み立てていく匠の製品です。

ステレオシステムやマルチチャンネルホームシアターシステムなどいずれのシステムでも驚きのパフォーマンスをThe Referenceシステムはお約束します。音楽性はもちろんのこととえ非常に低いボリュームにても素晴らしい抜けの良い再生音を楽しめます。また、点音源2ウェイユニQドライバーとダポリート仮想同軸構造のウーハーは完璧な位相特性を誇示し、オーケストラの位置や歌手の立ち位置などあたかもその場にいるようなハイデフィニションな再生をします。ユニQの広高域拡散性能は試聴位置を選

ばず、部屋中どこで聴いても気持ちの良い音楽を楽しむことができます。

The Referenceシリーズのスピーカーは芸術製品であり且つ科学を駆使して創造された製品でもあります。



KEF Senior Technician, Jon Lester

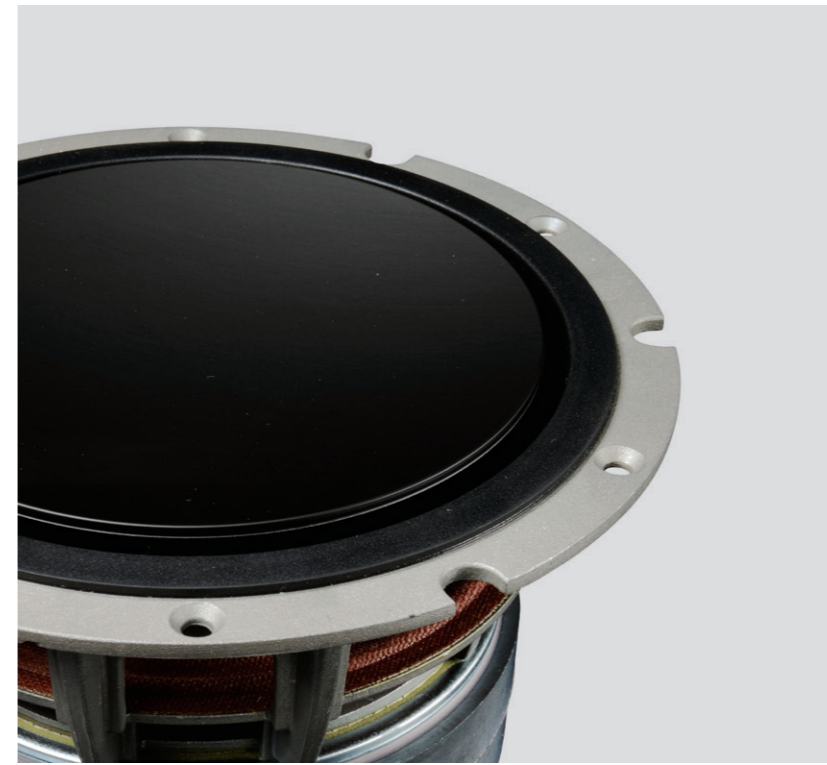
The Referenceスピーカーの神髄はなんといっても世界的なイノベーションである点音源2ウェイユニQドライバーです。

125mm 径のミッドレンジドライバーの中央に 25mm 径のベンテッド・アルミドームツイーターをはめ込み双方の音響芯が一致したところで固定したのがユニQドライバーです。これにより HF と MF ドライバーは点音源化され完璧な位相特性と均一なダイナミックレンジさらに MF ドライバーの開口角に匹敵するほどの高域拡散角を得ています。ボーカリストはあたかも目の前に浮かび、部屋中どこにいてもステレオ感のある美しく気持ちの良い音楽を楽しむことが出来ます。

Blade により開発された、ベンテッドツイーターは強力なネオジウムマグネットに折り返しのある特殊な形状のアルミドームでレゾナンスがなく超低歪と高出力を誇るツイーターです。音質は滑らかで心地の良いものとなっています。

タンジェリンウェーブガイドはツイーターの音の流れをスムーズにします。ユニQは二つのドライバーがあたかも一つのドライバーであるように働きスピーカーとしてつくりは高価ではあるが、理想的な音場を再現します。MF コーンは軽く硬い理想のアルミアロイを使用し音離れのよいスピーディでクリーンな音質をもちます。高硬度のあるアルミダイキャスト製のフレームもそのパフォーマンスを助けています。

これらの素晴らしい二つのドライバーが1つのドライバーとして働き、理想的な音響特性を形成します。



クリアーでリッチな正確な低音は音楽の世界では非常に重要なファクターです。新開発の 165mm の LF ドライバーはユニQドライバーと最高のつながりで動作する様設計されています。自社で、ドライバーの開発設計生産を行う KEF だから出来る特技です。巨大で強力なマグネットは中央に背圧を逃がす穴が開いているばかりでなく、太く電流を効率的に流すが軽いアルミボイスコイルを使用し、軽く硬いアルミコーンを力強くダイナミックにドライブします。フロアスタンド型のバスドライバーは上下対象に配列されあたかもユニQの音響芯が音源であるかのように動作する仮想同軸となっています。



The Reference のフロントバッフルは、共振を完全に排除した理想の構造で、ドライバーの性能を 100% 引き出します。2枚の厚いアルミにレジンをはさみ高温、高圧で造られたもので、キャビネット全体にも高硬度を形成させます。バッフル自体もダンピング機能が有り共振を排除します。さらに、フロントバッフルは多くのボルトでリアバッフルと結合され張力でもテンションが与えられ共振はほぼない構造となっております。



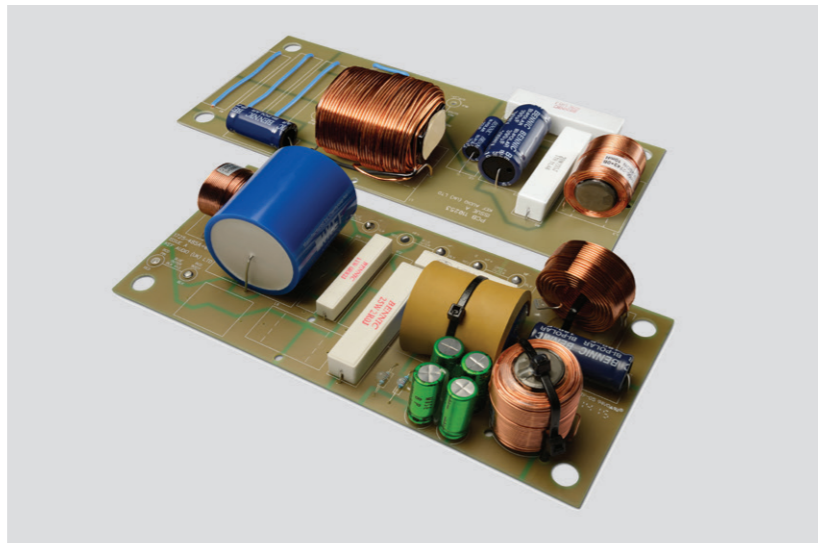
フレキシブルポートは LS50 で開発された技術で、低域のエクステンションと中高域への影響を無くした独創的なポート技術です。The Reference ではポートの形状は流体力学を使いポート内や出口に発生する空気の渦を解消しています。さらに内部のソフトなフレキシブルポートは宙域へのポートの影響を無くしています。その違いは特に 30-80Hz の領域で顕著です。



The Reference では 2 種のポートチューブを付属しています。デフォルトは長い黒のチューブです。低域を低い方まで下がりて伸ばします。また、付属されている灰色の短いチューブに変えますと低域を伸ばし切らない特性となり小さな部屋で、すっきり聞こえます。部屋の状態に合わせてチューンアップが出来ます。独自のバイワイヤースピーカー端子（裸線、バナナ、ワイラグ）とリンクコントロールを装備します。

目に触れることはないですが最も大切な部分の一つです。技術と、経験と、理想のパーツと、感性との調和をもって設計されています。

前述のように KEF では自社でドライバーの開発設計生産を行っていますので、スピーカーに合わせて最高のドライバーを創ることが出来ます。ダイナミックレンジ、インピーダンス特性、周波数特性、位相特性などなど。ですから、クロスオーバーネットワークは最高の品質のパーツを厳選し軽く作るのみです。高域と低域のボードは別ピースとし、キャビネットにデカップルして取り付けられています。つながりの良い流れるような自然な音です。インピーダンスは8オームで効率も高くアンプにやさしいのも KEF の技が生きているからです。



フロントバツフルを最小にしディスページョンを最良にしたデザインです。内部定在波を最小とし、多くのブレーシングが施されさらに、KEF 独自のダンピングマテリアルが適宜使用されています。吸音材は音のクリアさを損ねるため最低限の使用となっています。堅牢な2枚のアルミでレジンを含んだフロントパネルと、フロントパネルとリアパネルとを複数のボルトで繋ぎ張力を加えるなど徹底した無共振設計です。KEF の最高のドライバーの音のみをお聴きいただくコンセプトです。



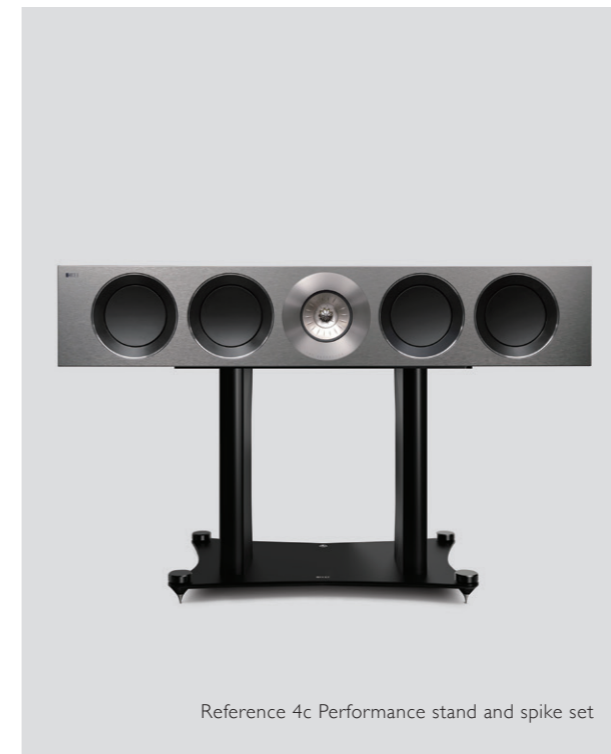


Performance plinth and spike set

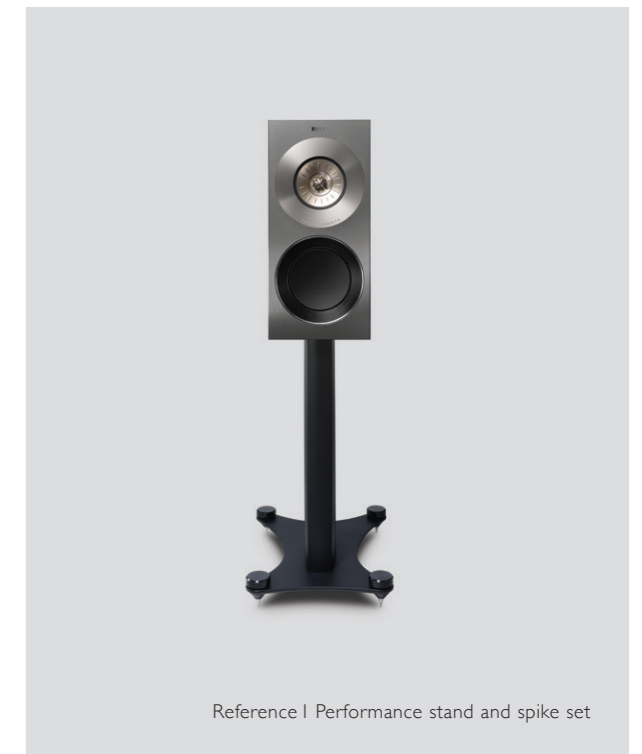
キャビネットの僅かな振動も床に伝えないために、The Reference 3と5には安定性がある堅牢で重量のある台座とスパイクが付属されています。台座のリアパネル側には水準器が装備されており上からスパイクの高さを調整して水平なスピーカーの設置が出来ます。

The Reference 1には別売の専用スタンドが有ります。スピーカーはボルトでスタンドに固定出来ます。柱の部分は空洞ですので鉛など市販の無機物のチューンアップ材を入れることが出来ます。

The Reference Center用の専用スタンドも有ります。全てのスタンドはサテンブラックです。



Reference 4c Performance stand and spike set



Reference 1 Performance stand and spike set

The Reference用のスタンドはデザイン的にマッチするのみでなく、最高のサウンドを実現すべくデザインされています。

REFERENCE 5



もし、最高の音楽再生をお望みなら The Reference 5をお勧めします。3ウェイフロア型。非常にパワフルでリアな165mm径のバスドライバー(ユニQドライバーの上下に2本ずつダポリート仮想同軸状に配置されています。)と最新の点音源2ウェイユニQから構成されています。スムーズで自然なサウンドはリスナーの心にしみわたります。ユニQのツイーターからの高域の音は広い高域拡散角度を誇ります。さらにタンジェリンウェーブガイドによってスムーズに流れるツイーターからの音は、部屋中に拡散されリスニングポイントを選ばないほどです。LFドライバーから出る音も、ユニQと綺麗に交わりあたかも1つのドライバー(ユニQ)から音が出ているようです。

REFERENCE 3



Reference 5 の DNA を Reference 3 も受け継いでいます。3ウェイデザインで、2台の165mm径のバスドライバーをダボリット仮想同軸状に2ウェイ点音源ユニQの上下に配置されています。その位相特性の良さは素晴らしいものです。歌手はあたかも左右のスピーカーの中央で歌っているかのように聴こえます。オーケストラのポジショニングが手に取るように分かります。堅牢なアルミサンドウイ

ッチパネルは低域のリアルな広がりと締りの微妙なニュアンスをハイスピードで伝えます。



REFERENCE 1



ブックシェルフ型の Reference 1 は小型ながらしっかりとした3ウェイデザインです。DNAは他2モデルと同じです。ブックシェルフはそれなりの良さが有ります。スタンドに載せて聞いたとき空中から音が発散されたかのような錯覚にとらわれます。また、ニアフィールドで聴くには最適、いや最高の贅沢といってもよいでしょう。



REFERENCE 4c



映画の2/3はダイアログとも言われています。Reference 4cは手抜きのないセンタースピーカーで至福のシアターを作る重要なモデルです。中央に2ウェイ点音源ユニQを配し、左右に165mm径のウーハーを2基ずつ配置しています。そのリアリティは今までに感じ得なかったものとなります。



REFERENCE 2c



他のモデルと同じ 125mm 径の 2 ウェイ点音源ユニQドライバーと、165mm 径のウーハーを 2 本備えた密閉キャビネット構造のセンタースピーカーです。他のスピーカーとの音の交わりは最高です。映画のダイアログは 2/3 近く有ると言われています。体の厚みを感じさせるパワフルなセンタースピーカーです。Reference 4c は大きなお部屋で、2c はそれよりも小さいお部屋に適します。その、クリアなサウンドは聴くものを圧倒させます。



REFERENCE 8b



スクリーン上のドラマティックな効果や情景の描写には正確な再生のできるサブウーハーが必要です。Reference Subwooferは1つのキャビネットに2本の228cm径のバスドライバーを左右に配し、それぞれを独立した500WのクラスDアンプでバイアンプドライブします。さらに、KEFのフォースキャンセリング技術を用いドライバーの背面と背面をフォースキャンセリングロッドで結合させます。キャビネットは多くのブレーシングが施され、キャビネットはほぼ共振しない構造となっています。ロングスロー、超低歪のウーハードライバーの再生音のみが聴こえる構造です。左右2台を使用するのがお勧めです。



KENT ENGINEERING AND FOUNDRY EDITIONS

31

BBC のエンジニアであったレイモンドクックが録音された音楽を完璧に再生できるスピーカーを創ろうと 1961 年に英国ケント州メイドストーンにあるメッドウェイ川の畔にあったニッセンハット (古い軍事工場) に最初のリサーチ・ラボを創りました。当時、ニッセンハットは Kent Engineering and Foundry という会社が有ったので、レイモンドの会社も KEF と呼ぶことにしました。KEF 社の始まりです。

KEF の半世紀に及ぶイノベーションと、伝統のリファレンスシリーズが始まって 40 年に及ぶここからこれを祝い Spetial Edition を 2 モデル創りました。

2 つの特別仕上げの Reference Model です。ブルー・アイス・ホワイト (Blue Ice White) と銅・ブラック・アルミニウム (Copper Black Aluminium) をケント・エンジニアリング アンド ファウンドリーエディションをリファレンスシリーズの特注色としました。



Copper Black Aluminium –
Kent Engineering and Foundry Edition



Blue Ice White –
Kent Engineering and Foundry Edition

こんにちのモデルはより良いです。よりピュアーです。音響工学的により良くなっています。では、どの程度よくなっているのでしょうか。

本当のパーフェクトな音への挑戦は未だに続いています。新しい素材、新しい技術に触れるたび KEF の開発技術者たちはさらへの極みを求め努力を続けます。一切の妥協をせずに値段にかかわらずその価格において最高のスピーカーを創造します。

例えば、ロス・ラブグローブがデザインしたミュオンはミュオンの形状に合わせて最高のパフォーマンスが得られるよう設計されました。世界で初めての完全点音源スピーカーの Blade と Blade Two は最高の技術と創造的デザインのコラボレーションです。

これが 40 年前にリファレンスシリーズが生まれたときの精神のままです。

MUON

至高を目指したプロジェクトは世界でも数少ないです。しかし、KEF がステートオブアートのアコースティックエンジニアリングと天才デザイナーのロス・ラブグローブとのプロジェクトは正に至高を目指したものでした。ラブグローブは KEF の最高の技術や 21 世紀のスピーカーのありうる姿による音のイメージをスカルプしていきました。その結果、今までに作られたスピーカーの中で最も素晴らしいと言えるものの一つを創造しました。



BLADE & BLADE TWO

KEF の技術者たちが革新的プロトタイプ Concept Blade を創ったのは驚きでした。世界で初めての完全点音源スピーカーであるばかりでなくその再生音は素晴らしいものでした。そこで、世界のオーディオファイルが自宅でも使えるものを創りました。Blade は音楽を本当に愛する人々を念頭に描いて創られました。Blade も弟分の Blade Two も音楽を本当に楽しんでいただけるスピーカーとして創られています。



THE REFERENCE

録音された音を完璧に再生するスピーカーをめざし KEF の Reference シリーズが創られました。40 年余りの綿々たる開発努力は世界のオーディオファイルに認められ、ベンチマークの一つとして知られるようになりました。The Reference も KEF の Total Design System にのって重箱の隅をつつくように徹底した推敲を重ねて創られたモデルです。目に見えるものもあるし見えないものもあります、が兎に角 Detail を徹底して作り上げたのが The Reference です。



THE REFERENCE

CI EXTREME THEATRE

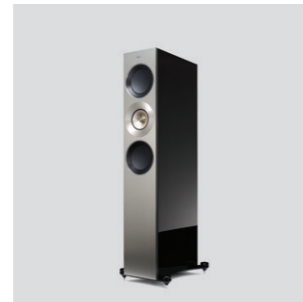


インビジブルだが最高の音楽を聴きたいというオーディオファイルの為に、インウォール型Ciエクストリームスピーカーは創られました。

Ci Extreme は THX Ultra 2 認定のスピーカーシステムです。ユニQドライバーを使用していますので、KEFのフロア型スピーカーとも相性は最高です。また、Ciエクストリームのみでシステムを構成しますと、フロア型スピーカーにも勝るとも劣らない再生を全くスピーカーを感じることなく映画や音楽を楽しめます。Ciシリーズは KEF JAPAN 認定のインストーラーのいる販売店のみ設置販売することができます。

THX

THX and the THX logo are trademarks of THX Ltd. that are registered in the U.S. and other jurisdictions. All rights reserved.



REFERENCE 5

REFERENCE 3

REFERENCE 1

Design	Three-way bass reflex	Three-way bass reflex	Three-way bass reflex
Drive units	Uni-Q driver array: HF: 25mm (1 in.) vented aluminium dome MF: 125mm (5 in.) aluminium Bass units: LF: 4 × 165mm (6.5 in.) aluminium	Uni-Q driver array: HF: 25mm (1 in.) vented aluminium dome MF: 125mm (5 in.) aluminium Bass units: LF: 2 × 165mm (6.5 in.) aluminium	Uni-Q driver array: HF: 25mm (1 in.) vented aluminium dome MF: 125mm (5 in.) aluminium Bass units: LF: 1 × 165mm (6.5 in.) aluminium
Frequency range free field (-6dB)	Short port: 35Hz – 45kHz Long port: 32Hz – 45kHz	Short port: 38Hz – 45kHz Long port: 35Hz – 45kHz	Short port: 40Hz – 45kHz Long port: 37Hz – 45kHz
Frequency range typical in room bass response (-6dB)	25Hz	28Hz	30Hz
Frequency response (±3dB)	40Hz – 35kHz	43Hz – 35kHz	45Hz – 35kHz
Crossover frequency	350Hz, 2.8kHz	350Hz, 2.8kHz	350Hz, 2.8kHz
Amplifier requirements	50 – 400W	50 – 300W	50 – 200W
Sensitivity (2.83V/1m)	90dB	87.5dB	85dB
Harmonic distortion 2nd & 3rd harmonics (90dB, 1m)	<0.5% 40Hz – 100kHz <0.2% 200Hz – 10kHz	<0.5% 40Hz – 100kHz <0.2% 200Hz – 10kHz	<0.5% 40Hz – 100kHz <0.2% 200Hz – 10kHz
Maximum output (peak sound pressure level at 1m with pink noise)	116dB	113.5dB	111dB
Impedance	8Ω (min. 3.2Ω)	8Ω (min. 3.2Ω)	8Ω (min. 3.2Ω)
Weight	60.2kg (132.7lbs.)	51.3kg (113.1lbs.)	18.2kg (40.1lbs.)
Dimensions (H × W × D) (with grille and terminal)	1350 × 205 × 470 mm (53.1 × 8.0 × 18.5 in.)	1155 × 205 × 470 mm (45.5 × 8.1 × 18.5 in.)	440 × 205 × 430 mm (17.3 × 8.1 × 16.9 in.)
Dimensions (H × W × D) (with grille, terminal & plinth)	1397 × 349 × 470 mm (55 × 13.7 × 18.5 in.)	1202 × 349 × 470 mm (47.3 × 13.7 × 18.5 in.)	N/A
Performance stand dimensions (H × W × D)	N/A	N/A	537 × 324 × 409 mm (21.1 × 12.7 × 16.1 in.)
Cabinet finish	Deep Piano Black, Satin American Walnut, Luxury Gloss Rosewood	Deep Piano Black, Satin American Walnut, Luxury Gloss Rosewood	Deep Piano Black, Satin American Walnut, Luxury Gloss Rosewood
Kent Engineering and Foundry Edition	Yes	Yes	N/A



REFERENCE 4c

REFERENCE 2c

Design	Three-way bass reflex	Three-way closed box
Drive units	Uni-Q driver array: HF: 25mm (1 in.) vented aluminium dome MF: 125mm (5 in.) aluminium Bass units: LF: 4 × 165mm (6.5 in.) aluminium	Uni-Q driver array: HF: 25mm (1 in.) vented aluminium dome MF: 125mm (5 in.) aluminium Bass units: LF: 2 × 165mm (6.5 in.) aluminium
Frequency range free field (-6dB)	Short port: 43Hz – 45kHz Long port: 40Hz – 45kHz	65Hz – 45kHz
Frequency range typical in room bass response (-6dB)	33Hz	46Hz
Frequency response (±3dB)	48Hz – 35kHz	80Hz – 35kHz
Crossover frequency	350Hz, 2.8kHz	350Hz, 2.8kHz
Amplifier requirements	50 – 400W	50 – 300W
Sensitivity (2.83V/1m)	90dB	87.5dB
Harmonic distortion 2nd & 3rd harmonics (90dB, 1m)	<0.5% 40Hz – 100kHz <0.2% 200Hz – 10kHz	<0.5% 40Hz – 100kHz <0.2% 200Hz – 10kHz
Maximum output (peak sound pressure level at 1m with pink noise)	116dB	113.5dB
Impedance	8Ω (min. 3.2Ω)	8Ω (min. 3.2Ω)
Weight	45.2kg (99.6lbs.)	22.8kg (50.3lbs.)
Dimensions (H × W × D) (with grille and terminal)	205 × 1090 × 470 mm (8.1 × 42.9 × 18.5 in.)	205 × 630 × 325 mm (8.1 × 24.8 × 12.8 in.)
Dimensions (H × W × D) (with grille, terminal & plinth)	N/A	N/A
Performance stand dimensions (H × W × D)	487 × 669 × 409 mm (19.2 × 26.3 × 16.1 in.)	N/A
Cabinet finish	Deep Piano Black, Satin American Walnut, Luxury Gloss Rosewood	Deep Piano Black, Satin American Walnut, Luxury Gloss Rosewood
Kent Engineering and Foundry Edition	N/A	N/A



REFERENCE 8b

Design	Force cancelled closed box
Drive units	2 × 225mm (9 in.)
Frequency range at 90dB output in free-space mode (-6dB)	18Hz
Frequency response at 90dB output in free-space mode (±3dB)	24Hz
Amplifier	2 × 500W Class D with switched mode power supply and DSP based control section
Maximum output (peak sound pressure level at 1m 50Hz)	110dB
Low pass filter variable	Variable frequency: 40Hz to 160Hz Variable slope: 12dB/oct, 18dB/oct, 24dB/oct LFE mode: 350Hz, 18dB/oct
Inputs	RCA phono sockets Analogue XLR socket Speaker level inputs
Link out	RCA phono sockets
Net internal volume	23L
Weight	34kg (75.0lbs.)
Dimensions (H × W × D)	398 × 365 × 429 mm (15.7 × 14.4 × 16.8 in.)
Power requirements	100V – 120V / 220V – 240V ~50/60Hz
Power consumption	1000W
Cabinet finish	Deep Piano Black
Kent Engineering and Foundry Edition	N/A

KEF reserves the right, in line with continuing research and development, to amend or change specifications. E&OE

保証に関して：KEF JAPAN では保証書を発行していませんが、KEF JAPAN の正規販売店 (www.kef.jp 参照) の領収書を保証書とみなしております。且つ、新品をお買いになり、オリジナルのオーナーであれば、自然故障に対して2年の保証修理となります。

クリーンで現代的なラインの The Reference のキャビネットはディテールに渡って注意深くデザインされています。

トラディショナル及びコンテンポラリーのインテリアをお持ちの方は、Deep Piano Black やソフトな感覚の突板の Satin American Walnut や光沢仕上げの Luxury Gloss Rosewood をお勧めします。

もっと特別なものをお求めの方はリミテッドの Kent Engineering and Foundry Edition をお勧めします。

THE REFERENCE

Cabinet colours

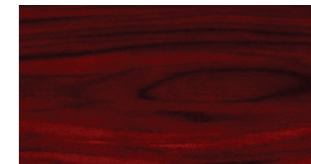
Deep Piano Black



Satin American Walnut



Luxury Gloss Rosewood



Aluminium composite front baffle and Uni-Q driver



Performance plinth and spike set



THE REFERENCE
Copper Black Aluminium –
Kent Engineering and
Foundry Edition

Cabinet colours
Piano Black



Solid black aluminium front baffle and Uni-Q driver

The distinctive copper finish acknowledges KEF's 50th anniversary colour combination, in honour of the now iconic KEF LS50 model.



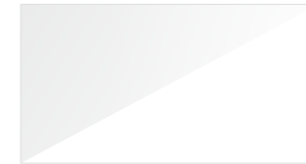
Style plinth and spike set

A black gloss and matt Style plinth and spike set feature as standard.



THE REFERENCE
Blue Ice White –
Kent Engineering and
Foundry Edition

Cabinet colours
Piano White



White composite front baffle and Uni-Q driver

Striking Blue highlights complement the Ice White to evoke the colours of the original KEF logo.



Style plinth and spike set

A striking chrome and matt Style plinth and spike set feature as standard.



LISTEN

AND IT ALL BECOMES

PERFECTLY CLEAR.

